

2021年11月25日

千福が丘自治会 会員の皆様へ

千福が丘自治会
自主防災会長（防災安全部）
中村誠也

我が町、千福が丘における防災上のご報告と皆様へのお願いをいたします。

【1. 今年の災害についてご報告】

① 7月2日～4日において、線状降水帯による、集中豪雨がありました。谷津川沿いでは、溪流があふれ、裾野の景勝地、景が島では、橋の下3mくらいまで濁流が迫り、市民文化センター付近の黄瀬川では濁流が越水しそうでした。

千福が丘周辺での時間雨量: 7月3日0:00～2時間で111mm（バケツをひっくり返したような雨）と、大畑（美化センター）の雨量計で7月3日の正午時点で降り始めからの雨量が600mmを越えておりました。詳細な情報は以下の裾野市公式ウェブサイトHPにありますので、リンクしておきます。

令和3年7月1日からの大雨による被害の概要／裾野市

(city.susono.shizuoka.jp)

<https://www.city.susono.shizuoka.jp/soshiki/2/1/2/higai/16066.html>

②この災害からのお願い

今回はこの程度で収まりましたが、年々ひどくなる豪雨、早め早めの避難をお願いいたします。何か起きてからでは助けに行けません。

避難は千福が丘小学校の体育館で行いましたが、とにかく体を休めるには不向きな場所です。このことから小規模避難には自治会館を使用することについて区長を経由し、裾野市危機管理課へ報告しています。

自治会館の鍵は自治会の副部長以上（広報さんも含め）防災組織7班の班長が持っていますので、開けていただいて避難をお願いいたします。（平日昼間は生活サポートが開けています）

③これからの防災上の備え

まずは情報です。静岡県では防災アプリを公開しています。現在の位置情報とリンクして、災害情報がリアルタイムで通知されます。スマートフォンなどへインストールをお願いします。

静岡県／総合防災アプリ「静岡県防災」

(pref.shizuoka.jp)

<https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html>

QRコードを添付します。⇒



そして、各ご家庭での備蓄です。千福が丘は被災の可能性が少ない地区です。しかし、大災害時には、周辺がすべて被災し、陸の孤島になる可能性があります。その場合に備えて各ご家庭でも、一週間分の食料の備えをお願いします。

お米、缶詰だけでも構いません。あとは自分のお薬、飲料水を適宜、準備しておいてください。お菓子でも構いません。お米は最悪の事態にはそのまま

でも食べることが可能ですし、他の保存可能な食品も加熱調理がなくても、食べることができる物を選んでおいてください。
また、大事なペットのごはんも準備お願いいたします。

【2. 千福が丘の防災上の地理的状況を報告】

①ハザートマップからの考察について

千福が丘は急傾斜地指定が若干ありますが、浸水予測地域はありません。ありがたいことです。ですから、豪雨時の災害については、**急傾斜地の方は早め早めの避難**をお願いいたします。
また、大水害が発生した場合には黄瀬川を越えての交通は不可能になります。復旧するまでの期間ご自宅での避難になる可能性がありますので、備蓄はお願いいたします。

②予測される東海地震（東南海含め）での被害について

気象庁の震度予測において、千福が丘は最大震度6弱が予測されています。これは、立っていることができないほどの揺れです。
建物の倒壊確率は1981年6月1日（建物の建築を確認した日:昭和56年）以降に制定された新耐震基準により、震度6強から7程度でも倒壊・崩壊がしないよう厳しい基準となっています。
この場所は愛鷹山の古い岩盤の上にありますので、比較的安心できます。（岩盤は建物を破壊しやすいキラパルスが発生しにくいと言われていす）
ということはやはり、在宅避難が可能なように準備をお願いいたします。

（参照インターネット情報）

気象庁 | 南海トラフ地震について | 南海トラフ地震発生で想定される震度や津波の高さ (jma.go.jp)

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/assumption.html>

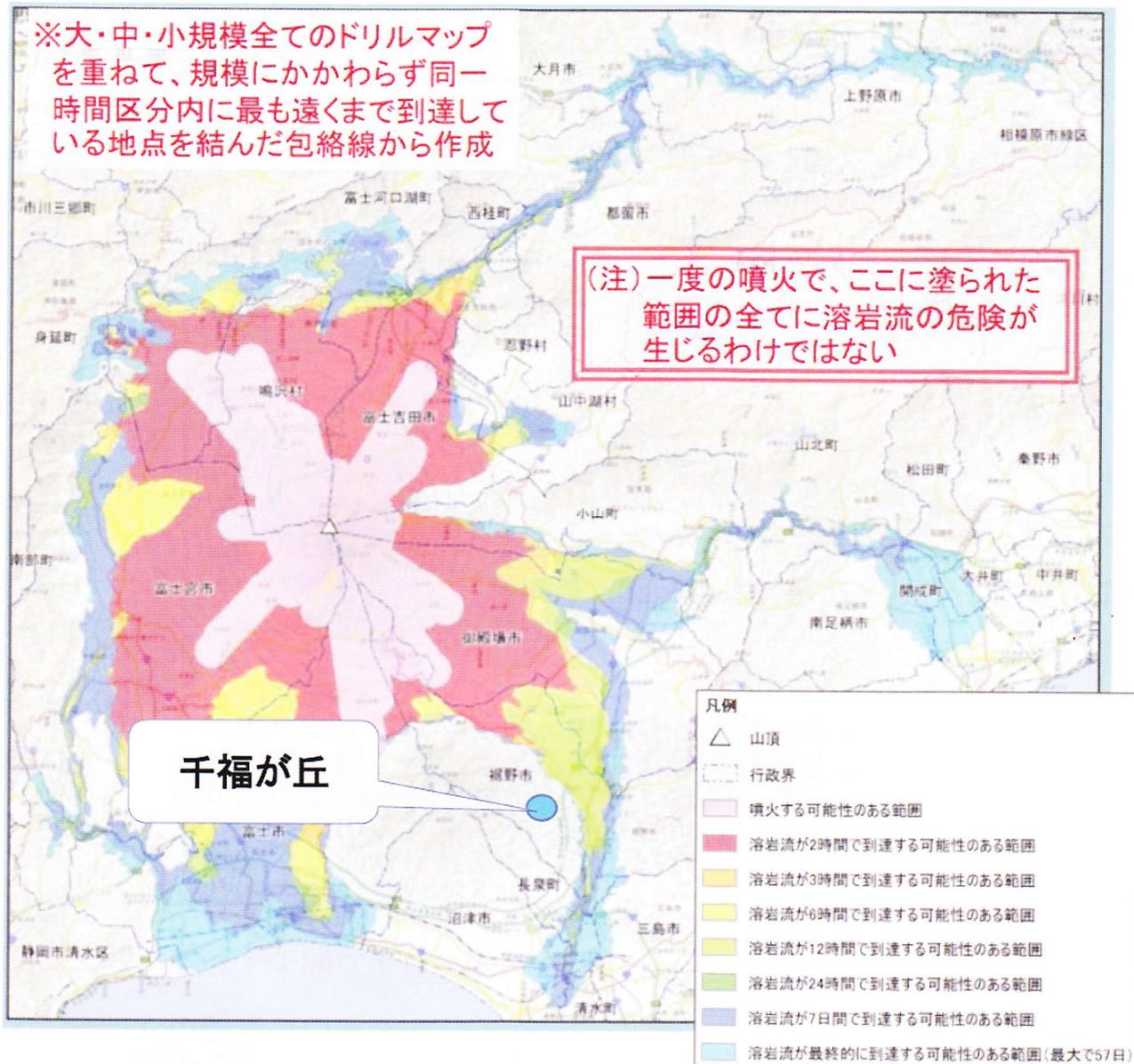
では実際にどのような準備が有効でしょうか。簡単です。食べ物、飲料水、お薬です。また、加熱調理ができるように、キャンプ用品のバーナーや、火が扱える場合には、石油ストーブも有効です。割と原始的な道具も役に立ちます。電池式のラジオも非常に役に立ちます。一度ご家族でなにができるか、お話をしてみてください。

③富士山噴火における被害想定について

富士山は活火山です。宝永の噴火のように噴火してもおかしくない火山です。その噴火の根拠は日本の大地溝帯の東端部にあり、北米プレート、ユーラシアプレート、フィリピン海プレートの3つが合わさる場所にある火山だからです。

しかし、千福が丘はすでに死火山の愛鷹山の東南部にあるため、以下のドリルマップのように溶岩流は流れこみません。想定される噴火口（山頂から南南西、北北東のライン）からの噴火の場合でも大きな噴石、火砕流、溶岩泥流の影響も想定されていません。火山灰の降灰の可能性はあります。そうなるとはやはり、在宅避難となる可能性が非常に高くなります。住民の皆さまが災害に備えて備蓄をお願いいたします。

図名称 溶岩流可能性マップとドリルマップの重ね合わせ図



【3. まとめ】

ありがたいことに、この千福が丘は地理上、災害発生の可能性が非常に少ない地区になります。それでも、たくさんの住民が住んでいますし、昼間にはゴルフ場の営業もあり、緊急避難時には大人数になる可能性があります。もしも災害が発生し、避難する際は落ち着いて行動するよう心がけましょう。みなさまで素晴らしい、千福が丘区にしていきたいと思います。

よろしく願いいたします。

(我が家の防災情報)

※ご家族で一度話し合って、記載いただけるといいかと思えます。

(防災備蓄：食料・飲料水)

Blank dashed box for disaster preparedness information (Food and Drink).

(防災備蓄：お薬・非常持ち出し品、その他)

Blank dashed box for disaster preparedness information (Medicine, Emergency Evacuation Items, etc.).

(非常時集合場所やその他ご家庭内での連絡先)

Blank dashed box for disaster preparedness information (Emergency Meeting Place or other contact information within the home).